

2026年度（令和8年度） 第1回 外国人材活躍推進協議会

2026年（令和8年）7月22日

福山市多文化共生地域連携協議会について

福山市多文化共生地域連携協議会

- ・ 福山市多文化共生推進プランの進捗管理
- ・ 日本語学習環境の在り方検討
- ・ 各部会の集約

○設立趣旨

- ・ 福山市多文化共生推進プラン（5年間計画）に基づき多文化共生施策を連携して推進するため、関係者や専門家などで組織する
- ・ 多文化共生施策の進捗管理を行い、関係者から現状や課題等を聴取し、共有するとともに必要な施策の検討を行う
- ・ 育成就労制度の開始を見据え、外国人材が定着し活躍できるまちとなるよう各施策の検討を行う

地域部会

○内容

- ・ 地域日本語教室の充実
- ・ 日本語学習支援に携わる人材の育成
- ・ 地域住民の理解促進
- ・ 地域活動への参加促進
- ・ 生活相談体制の充実
- ・ 外国人コミュニティの形成

雇用部会（外国人材活躍推進協議会）

○内容

- ・ 日本語能力の向上
- ・ 就労支援
- ・ 就労・生活のための制度、雇用ルールの啓発
- ・ 相談窓口の周知・連携

教育部会（福山市外国人児童生徒等指導体制の推進に係る協議会）

○内容

- ・ 初期指導教室の開設
- ・ 初期指導教室修了者へのフォローアップ
- ・ 学校受け入れ時の面談、個別の支援計画作成の補助
- ・ 日本語担当教員への巡回指導・研修の実施

外国人材活躍推進協議会（雇用部会）について

1. 目的

外国人材が地域で安心して働き、生活し、企業や地域も成長できる環境を官民でつくること。

2. 構成機関の役割

産業支援機関：会員企業の課題把握や普及・啓発及び実践支援

教育機関：留学生の視点や人材育成の観点から情報共有・提案

行政：議論を施策や支援制度へ反映

3. 昨年度の取組

外国人材として必要な日本語能力の向上や企業における他の従業員との相互理解、就職に向けた支援及び生活ルールや文化の理解促進に向けて、外国人材の現状及び課題を把握し、対応策を検討するため、計5回の協議会を開催した。産業支援機関、教育機関等の委員及びオブザーバーから、次の3つの取組の柱に基づき多角的な意見を聴取し、課題を整理した。

<取組の柱>

- ① 日本語教育の支援
- ② 生活環境の整備
- ③ 就労・定着の促進

4. 今年度の取組方針

昨年度整理しためざす姿の実現に向け、協議会を通じて、各企業等の具体的な取組へと繋げていく。

福山市多文化共生推進プラン施策体系

基本理念

互いを認め合い
多様性を活力に
みんなで創る
多文化共生のまち

基本方針

1 コミュニケーションを通じて つながり合うまちづくり

1 日本語学習機会の充実

重点

①日本語教育の支援

2 外国人住民に伝わるコミュニケーション手段の普及

3 相互理解の促進と多文化共生の機運醸成

2 誰もが安心安全に暮らし 続けることができるまちづくり

1 行政情報等の多言語化の推進

2 生活相談体制の充実

重点

②生活環境の整備

3 オリエンテーションとアウトリーチによる支援

重点

4 こどもの教育機会の確保

5 子育て・保健・福祉・医療に関する支援

6 防災、交通安全・防犯の推進

7 住まいの確保と就労環境の整備

③就労・定着の促進

3 誰もが活躍できるまちづくり

1 外国人材の受入れ支援

③就労・定着の促進

2 定着促進とキャリア形成支援

重点

①日本語教育の支援

③就労・定着の促進

3 地域社会への参画と協働

4 海外都市等との国際交流

福山市多文化共生事業について

協議会等で示された課題

コミュニケーション

○日本語学習に関すること

- ・日本語を学習できる場が少ない。
- ・地域日本語教室があることを知らない外国人が多い。(65.1%)
- ・機会があれば勉強したいと思っている外国人が多い。(18.2%)
- ・ボランティアの人材が不足している。
- ・日本語を学ばせたい事業者がある。
- ・国、県の日本語教育メニューを知らない事業者がある。
- ・外国にルーツのある児童生徒が増えている。

相互理解

○地域住民と外国人住民の相互理解に関すること

- ・外国人住民が増えることについて、不安を感じている地域住民がいる (29.1%)
- ・地域住民と仲良くなりたい外国人住民が多い (84.9%)
- ・外国人住民が日本の文化や生活習慣を理解しておらず近隣トラブルになることがある

環境整備

○外国人住民の生活相談・定着等に関すること

- ・相談窓口があることを知らない外国人住民が多い (44.0%)
- ・災害時の避難など、どうすればよいかわからない外国人住民が多い (18.6%)
- ・行政からの情報が外国人住民や外国人材を雇用する企業に届いていない。
- ・外国人が地元へ定着していくことが重要。

2026年度 主な取組

【拡充】日本語初学者への教室拡充 (備後圏域)

【拡充】地域日本語教室ボランティア養成講座 (備後圏域)

【新規】外国人材を雇用する事業者への学習支援補助
(介護、障がいサービス含めた事業者)

(継続) 日本語初期指導教室

(継続) 多文化共生地域理解講座

【新規】多文化関連出前講座
(やさしい日本語、生活オリエンテーション)

(継続) 企業向け出前講座

【新規】フレンドリーピックまつながカープチャー

【新規】地域おこし協力隊の活用

(継続) 在住外国人生活相談

(継続) 外国人相談体制の整備

(継続) 多言語サポーター等養成講座

【拡充】外国人市民向け多言語防災講座

(継続) 子育て支援通訳ボランティア派遣

【拡充】福山市多文化共生地域連携協議会
(専門家への相談 (備後圏域))

(継続) 外国人材活躍推進協議会

【新規】大学等向け市内企業バスツアー支援事業補助

(継続) インターンシップ関連経費補助金

(継続) 外国人児童生徒等指導体制の運営協議会

プランKPI

日本語で会話ができる
と回答した外国人の割合

2024年度 22.8%

↓

2029年度 40.0%

福山市にずっと住みたい
と回答した外国人の割合

2024年度 32.0%

↓

2029年度 50.0%

生活で困ったことがない
と回答した外国人の割合

2024年度 41.9%

↓

2029年度 60.0%

取組の柱① 日本語教育の支援

協議会等で示された課題

2026年度 主な取組

プランKPI

コミュニケーション

○日本語学習に関すること

- ・日本語を学習できる場が少ない。
- ・地域日本語教室があることを知らない外国人が多い。(65.1%)
- ・機会があれば勉強したいと思っている外国人が多い。(18.2%)
- ・ボランティアの人材が不足している。
- ・日本語を学ばせたい事業者がある。
- ・国、県の日本語教育メニューを知らない事業者がある。
- ・外国にルーツのある児童生徒が増えている。

【拡充】日本語初学者への教室拡充（備後圏域）

【拡充】地域日本語教室ボランティア養成講座（備後圏域）

【新規】外国人材を雇用する事業者への学習支援補助
（介護、障がいサービス含めた事業者）

（継続）日本語初期指導教室

日本語で会話ができる
と回答した外国人の割合

2024年度 22.8%
↓
2029年度 40.0%

相互理解

○地域住民と外国人住民の相互理解に関すること

- ・外国人住民が増えることについて、不安を感じている地域住民がいる (29.1%)
- ・地域住民と仲良くなりたい外国人住民が多い (84.9%)
- ・外国人住民が日本の文化や生活習慣を理解しておらず近隣トラブルになることがある

（継続）多文化共生地域理解講座

【新規】多文化関連出前講座
（やさしい日本語、生活オリエンテーション）

（継続）企業向け出前講座

【新規】フレンドリーピックまつながカープチャー

【新規】地域おこし協力隊の活用

福山市にずっと住み続けたい
と回答した外国人の割合

2024年度 32.0%
↓
2029年度 50.0%

環境整備

○外国人住民の生活相談・定着等に関すること

- ・相談窓口があることを知らない外国人住民が多い (44.0%)
- ・災害時の避難など、どうすればよいかわからない外国人住民が多い (18.6%)
- ・行政からの情報が外国人住民や外国人材を雇用する企業に届いていない。
- ・外国人が地元へ定着していくことが重要。

（継続）在住外国人生活相談

（継続）外国人相談体制の整備

（継続）多言語サポーター等養成講座

【拡充】外国人市民向け多言語防災講座

（継続）子育て支援通訳ボランティア派遣

【拡充】福山市多文化共生地域連携協議会
（専門家への相談（備後圏域））

（継続）外国人材活躍推進協議会

【新規】大学等向け市内企業バスツアー支援事業補助

（継続）インターンシップ関連経費補助金

（継続）外国人児童生徒等指導体制の運営協議会

生活で困ったことがない
と回答した外国人の割合

2024年度 41.9%
↓
2029年度 60.0%

初期日本語教室



はじめての にほんごきょうしつ

Japanese Class for Beginners

初学者日语班 *Lớp học tiếng Nhật dành cho người mới bắt đầu*
Kelas Bahasa Jepang untuk Pemula

参加費
Fee 費用
Học phí Biaya
¥0

いつ	・水曜日クラス：7月15日～9月9日 10:00-12:00 ・木曜日クラス：7月16日～9月10日 18:30-20:30	※どちらかのクラスに参加できます。
だれ	日本語がぜんぜんわからない人、日本語がほとんど話せない人 福山市や福山市の近くに住んでいる人、働いている人、勉強している人	
どこ	まなびの館ローズコム 福山市霞町1丁目10-1 対面で開催します。	
なに	生活に必要な日本語のコミュニケーションを学びます。	
もうしこみ	参加したい人は右の二次元コードから申し込みをお願いします。	

＜注意事項＞

- 申し込みの締め切りは7月8日（水）10:00までです。
- 教室が始まる前に、オンラインで簡単な会話のテストをします。
- 希望者が多い場合は、日本語能力や住居資格を考慮して参加者を決めます。

【英語】

When	・Wednesday class: July 15th - September 9th, 10:00-12:00 ・Thursday class: July 16th - September 10th, 18:30-20:30 *You can participate in either class.
Who	People who don't understand Japanese at all, or who can barely speak Japanese. People who live, work, or study in or near Fukuyama City
Where	Manabi no Yakata Rose Com 1-10-1 Kasumicho, Fukuyama City It will be conducted in person.
What	You will learn Japanese communication skills necessary for daily life.
Application	If you would like to participate, please register using the code on the right.

＜Notes＞

- The application deadline is July 8th (Wednesday) at 10:00.
- Before the class begins, we will conduct a short online conversation test.
- If there are many applicants, participants will be selected based on their Japanese language ability and residence status.

【主催】
ふくやまし
福山市

【受託事業者】
Human
ヒューマンアカデミー株式会社

【お問い合わせ先】
ヒューマンアカデミー株式会社 広島校
受付：平日（月～金）9:00-18:00
TEL：082-530-0039
メール：bingo-nihongo@athuman.com

総務省「持続可能な行政サービスの提供に向けた広域連携モデル構築事業」活用

日本語学習支援事業補助金



外国人材を雇用する事業者の皆様へ

外国人材への日本語学習を 支援します

✓ 対象者
福山市内に所在する事業所等において雇用している外国人材に対して日本語学習を行う市内中小企業者等

✓ 対象経費

- 自社での社内研修や施設を借り上げて講習会を開催する際等の、講師招聘に係る経費（謝金及び旅費交通費）、教材費、施設使用料（会場使用料、通信費等）
- 専門事業者に委託して実施する際の委託料 等

**日本語
JAPANESE**

✓ 補助率・補助上限額

補助率: **1/4** (千円未満切り捨て)

補助上限額: **5** 万円

✓ 申請受付期間
2026年6月1日から2026年12月28日まで

✓ 補助対象期間
2026年4月1日から2027年2月15日まで

申請から交付決定までの流れ

① 申請
➡
② 交付決定
➡
③ 実施報告
➡
④ 交付額確定・支払

申請前に必ず申請ガイドをご確認ください。

福山市経済環境局経済部産業振興課
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電話：(084)928-1040 FAX: (084)928-1733
メールアドレス：koyouroudou@city.fukuyama.hiroshima.jp

ホームページ
はこちら



福山市 日本語学習支援事業補助金

検索

企業と地域が日本語を学ぶ機会を支え、外国人材が円滑にコミュニケーションを取り、安全・安心に働き、暮らすことができる

- 外国人材が、働きながら継続的に日本語を学べる
- 業務上の指示や安全ルールを理解し、自ら質問・相談できる
- 企業が日本語教育を本人任せにせず、人材育成の一環として支援している
- 単独での実施が難しい企業も、企業間や教育機関との連携により学習機会を提供できる

取組の柱② 生活環境の整備

協議会等で示された課題

2026年度 主な取組

プランKPI

コミュニケーション

○日本語学習に関すること

- ・日本語を学習できる場が少ない。
- ・地域日本語教室があることを知らない外国人が多い（65.1%）
- ・機会があれば勉強したいと思っている外国人が多い（18.2%）
- ・ボランティアの人材が不足している。
- ・日本語を学ばせたい事業者がある。
- ・国、県の日本語教育メニューを知らない事業者がある。
- ・外国にルーツのある児童生徒が増えている。

【拡充】日本語初学者への教室拡充（備後圏域）

【拡充】地域日本語教室ボランティア養成講座（備後圏域）

【新規】外国人材を雇用する事業者への学習支援補助
（介護、障がいサービス含めた事業者）

（継続）日本語初期指導教室

日本語で会話ができる
と回答した外国人の割合

2024年度 22.8%

↓

2029年度 40.0%

相互理解

○地域住民と外国人住民の相互理解に関すること

- ・外国人住民が増えることについて、不安を感じている地域住民がいる（29.1%）
- ・地域住民と仲良くなりたい外国人住民が多い（84.9%）
- ・外国人住民が日本の文化や生活習慣を理解しておらず近隣トラブルになることがある

（継続）多文化共生地域理解講座

【新規】多文化関連出前講座
（やさしい日本語、生活オリエンテーション）

（継続）企業向け出前講座

【新規】フレンドリーピックまつながカープチャー

【新規】地域おこし協力隊の活用

福山市にずっと住み続けたい
と回答した外国人の割合

2024年度 32.0%

↓

2029年度 50.0%

環境整備

○外国人住民の生活相談・定着等に関すること

- ・相談窓口があることを知らない外国人住民が多い（44.0%）
- ・災害時の避難など、どうすればよいかわからない外国人住民が多い（18.6%）
- ・行政からの情報が外国人住民や外国人材を雇用する企業に届いていない。
- ・外国人が地元へ定着していくことが重要。

（継続）在住外国人生活相談

（継続）外国人相談体制の整備

（継続）多言語サポーター等養成講座

【拡充】外国人市民向け多言語防災講座

（継続）子育て支援通訳ボランティア派遣

【拡充】福山市多文化共生地域連携協議会
（専門家への相談（備後圏域））

（継続）外国人材活躍推進協議会

【新規】大学等向け市内企業バスツアー支援事業補助

（継続）インターンシップ関連経費補助金

（継続）外国人児童生徒等指導体制の運営協議会

生活で困ったことがない
と回答した外国人の割合

2024年度 41.9%

↓

2029年度 60.0%

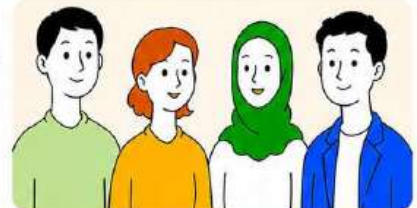
多文化共生出前講座

誰もが安心して暮らせるように
使える・伝わる／

やさしい日本語 出前講座

現在、福山市には1万3千人を超える外国人住民が暮らしています。
誰もが安心して暮らせる地域づくりのためには、相手に伝わりやすい言葉で伝えることが大切です。
やさしい日本語とは、外国人だけでなく、子どもや高齢者など、さまざまな人に伝わりやすい日本語のことです。
この講座では、防災情報を題材にしながら、日常生活や災害時にも役立つ「やさしい日本語」について学びます。
ぜひ、地域や職場でのコミュニケーションに活用してみませんか。

1 団体につき
年に1回
ご利用いただけます。

こんなことを学びます

- ✓ やさしい日本語とは？
- ✓ 言い換え・書き換えのコツ
- ✓ 伝わりやすい話し方・書き方
- ✓ やさしい日本語で話してみよう

日時 ご希望の日時で調整します
60分～90分

場所 ご希望の場所に伺います
(福山市内)

対象 地域住民
(市内企業や学校、市民活動団体)
10人以上
(申込書または電子申請)

費用 無料

申し込みの流れ

- 1 お問い合わせ
電話またはメールでお問い合わせください。
- 2 日程・内容の調整
ご希望の日時や内容を確認します。
- 3 申込の手続
申込書または電子申請を提出してください。
- 4 講座の実施
当日、講座を実施します。
- 5 アンケートの提出
講座の実施後にアンケートを提出してください。

申込・問い合わせ
福山市多様性社会推進課(多文化共生・国際交流担当)
☎ 084-928-1002
✉ kokusai@city.fukuyama.hiroshima.jp
詳しくは市ホームページへ



外国人のみなさんが安心して暮らせるように

生活オリエンテーション 出前講座

福山での暮らしをたのしむために
日本での生活に必要なルールやマナー、生活に役立つ情報の見つけ方などを、外国人住民・外国人住民と関わりのある方がわかりやすく学べる講座です。
(外国語を話せる講師もいます)

1 団体につき
年に1回
ご利用いただけます。



こんなことを学びます

- ✓ 日本の生活ルール
- ✓ 困ったときに相談するところ
- ✓ 交通ルール・自転車のルール
- ✓ 情報の見つけ方
- ✓ 防災(地震・台風)

日時 ご希望の日時で調整します
60分～90分

場所 ご希望の場所に伺います
(福山市内)

対象 外国人住民・外国人住民と関わりのある方

費用 無料

申し込みの流れ

- 1 お問い合わせ
電話またはメールでお問い合わせください。
- 2 日程・内容の調整
ご希望の日時や内容を確認します。
- 3 申込の手続
申込書または電子申請を提出してください。
- 4 講座の実施
当日、講座を実施します。
- 5 アンケートの提出
講座の実施後にアンケートを提出してください。

申込・問い合わせ
福山市多様性社会推進課(多文化共生・国際交流担当)
☎ 084-928-1002
✉ kokusai@city.fukuyama.hiroshima.jp
詳しくは市ホームページへ



企業、支援機関、地域が連携して暮らしを支え、外国人材が孤立することなく、地域の一員として安心して生活できている

○必要な情報が届いている

- ・住居、医療、防災、子育て、行政手続などの情報を理解できる形で得られる
- ・企業や登録支援機関だけに頼らず、本人が必要な支援先を知っている

○相談できる

- ・困り事が生じたとき、身近に相談できる人や窓口がある
- ・相談内容に応じて、行政、企業、支援機関、専門機関につながる
- ・相談窓口を設置しているだけでなく、外国人材に認知・利用されている

○地域とのつながりがある

- ・地域行事や交流活動に参加できる
- ・外国人材と地域住民が互いの文化や生活習慣を理解している
- ・会社と住居の往復だけでなく、地域内に人間関係を築けている

取組の柱③ 就労・定着の促進

協議会等で示された課題

2026年度 主な取組

プランKPI

コミュニケーション

○日本語学習に関すること

- ・日本語を学習できる場が少ない。
- ・地域日本語教室があることを知らない外国人が多い。(65.1%)
- ・機会があれば勉強したいと思っている外国人が多い。(18.2%)
- ・ボランティアの人材が不足している。
- ・日本語を学ばせたい事業者がある。
- ・国、県の日本語教育メニューを知らない事業者がある。
- ・外国にルーツのある児童生徒が増えている。

【拡充】日本語初学者への教室拡充（備後圏域）

【拡充】地域日本語教室ボランティア養成講座（備後圏域）

【新規】外国人材を雇用する事業者への学習支援補助
（介護、障がいサービス含めた事業者）

（継続）日本語初期指導教室

日本語で会話ができる
と回答した外国人の割合

2024年度 22.8%
↓
2029年度 40.0%

相互理解

○地域住民と外国人住民の相互理解に関すること

- ・外国人住民が増えることについて、不安を感じている地域住民がいる (29.1%)
- ・地域住民と仲良くなりたい外国人住民が多い (84.9%)
- ・外国人住民が日本の文化や生活習慣を理解し、地域に定着することが重要。

（継続）多文化共生地域理解講座

【新規】多文化関連出前講座
（やさしい日本語、生活オリエンテーション）

（継続）企業向け出前講座

【新規】フレンドリーピックまつながカープチャー

【新規】地域おこし協力隊の活用

福山市にずっと住みたい
と回答した外国人の割合

2024年度 32.0%
↓
2029年度 50.0%

環境整備

○外国人住民の生活相談・定着等に関すること

- ・相談窓口があることを知らない外国人住民が多い (44.0%)
- ・災害時の避難など、どうすればよいかわからない外国人住民が多い (18.6%)
- ・行政からの情報が外国人住民や外国人材を雇用する企業に届いていない。
- ・外国人が地元へ定着していくことが重要。

（継続）在住外国人生活相談

（継続）外国人相談体制の整備

（継続）多言語サポーター等養成講座

【拡充】外国人市民向け多言語防災講座

（継続）子育て支援通訳ボランティア派遣

【拡充】福山市多文化共生地域連携協議会
（専門家への相談（備後圏域））

（継続）外国人材活躍推進協議会

【新規】大学等向け市内企業バスツアー支援事業補助

（継続）インターンシップ関連経費補助金

（継続）外国人児童生徒等指導体制の運営協議会

生活で困ったことがない
と回答した外国人の割合

2024年度 41.9%
↓
2029年度 60.0%

今年度の主な関連事業

インターンシップ関連経費補助金

インターンシップ 関連経費補助金

新規構築または
内容改善する費用を補助！

インターンシップを新たに構築又は内容を改善して実施する際に必要な経費の一部を補助します！

✓ 対象者

大学等の学生や社会人の就職希望者に対して市内の事業所で実施するインターンシップを新たに構築又は内容を改善する福山市内の中小企業者等

✓ 対象要件

- 福山市の「グリーンな企業チャレンジ宣言」を申請している
- 福山市の「キャリア教育促進のための企業情報一覧」に登録申込をしている

✓ 対象経費

インターンシップを新たに構築又は内容を改善した場合に係る次の費用

- コンテンツ構築に係る外注費用
- 採用コンサルタント等への相談費用
- 勤務日が計10日間以上の有償のインターンシップ実施時に支払った給与

※2026年4月1日から2027年2月26日までの経費が補助対象です。

✓ 補助率・補助額

補助率: 1/2 (千円未満切り捨て)

上限補助額: 15 万円

ホームページ
はこちらから

✓ 申請受付期間

2026年12月28日まで

申請前に必ず申請ガイドを
ご確認ください。



申請から交付決定までの流れ



福山市経済環境局経済部産業振興課
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電話: (084)928-1040 FAX: (084)928-1733
メールアドレス: koyouroudou@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市 インターンシップ関連経費補助金

検索



キャリア教育支援事業補助金（企業見学バスツアー補助）

福山市キャリア教育支援事業補助金

福山の企業と学生を、
職場体験・企業見学でつなぐ



大学等・学生団体・学生向け事業団体

バスツアー経費を支援

申請受付: 2026年（令和8年）4月1日～12月28日必着

補助率
対象経費の

1/2

〈補助金額〉
市内申請者 最大5万円
市外申請者 最大10万円

制度のポイント

01 対象者

大学等（キャリアセンター含む）／学生団体等／
学生を対象とする事業を行うNPO・一般社団等

02 対象事業

- ・福山市内に本社または事業所を有する中小企業者等への訪問
- ・就職目的の職場体験・企業見学
- ・大学生等5人以上参加

03 対象経費

バス賃借料／高速道路料金／運転手に係る費用／
その他、市長が認める経費
※消費税等・他補助対象経費は対象外

04 申請の注意

- ・必ず事業実施前に申請してください
- ・先着順のため、予算がなくなり次第受付終了
- ・審査には最大1か月程度かかる場合があります

申請～交付の流れ



お問合せ・提出先

福山市 経済環境局 経済部 産業振興課
受付: 平日 8:30～12:00 / 13:00～17:15

TEL: 084-928-1040
MAIL: koyouroudou@city.fukuyama.hiroshima.jp
〒720-8501 福山市東桜町3番5号 福山市役所7階

詳細・申請
公式ページ



企業が外国人材を共に成長する人材として受け入れ、外国人材が能力を発揮し、キャリアを形成しながら市内企業で活躍・定着できている

○外国人材に選ばれる企業になっている

- ・企業が外国人材を採用する目的や受入れ方針を明確にしている
- ・経営者や日本人社員が異文化を理解し、円滑に協働できる
- ・業務内容、労働条件、キャリアの見通しが分かりやすく示されている

○外国人材と企業が出会えている

- ・留学生や高度外国人材が市内企業を知る機会がある
- ・インターンシップ、企業見学、交流会などを通じて相互理解が進んでいる
- ・企業が必要とする能力と、外国人材の専門性や希望が適切に結び付いている

○働き続け、成長できている

- ・外国人材が単なる労働力ではなく、企業を支える人材として育成されている
- ・能力や経験に応じた仕事、評価、昇進、キャリア形成の機会がある
- ・職場で相談や意見表明ができ、能力を発揮できている
- ・外国人材が市内企業で働き続けたいと感じている

○企業が連携して課題を解決している

- ・外国人材を雇用する企業同士が、受入れや定着の課題・好事例を共有している
- ・商工団体、大学、行政、監理団体等が企業の課題に応じて支援している
- ・個社では難しい研修や交流、相談対応を共同で実施している